



エコラボは、世界中の企業がより多くのことをより良い形で実現するための支援を行っています。公衆衛生を守り、天然資源を保護しながら人々のニーズを満たすためには、産業の回復力が重要です。エコラボのグローバルチームは、お客様が事業を発展させ、世界にポジティブな影響をもたらすことができるようサポートすることに注力しています。

私たちは、より大きな目標に向けて共に取り組むパートナーです。

2019 年度コーポレートサステナビリティレポートおよび GRI インデックス全文は www.ecolab.com/sustainability でご覧いただけます。

This report was printed by a WBENC-certified firm.
Printed using agri-based inks on FSC®-certified paper.



グローバル本社
1 Ecolab Place, St. Paul, MN 55102
www.ecolab.com 1 800 2 ECOLAB
©2020 Ecolab USA Inc. All rights reserved.55588/0800/0320



サステナビリティレポート

**より大きな
目標に向けて
共に取り組む
パートナー**

2019

今から予想する 10年後の世界

世界中で人口はさらに**10億人**増加すると想定されています。誰もが快適な生活と健全な地球を望むでしょう。このことは、世界的な課題と天然資源の問題の解決に向けて共に取り組むことの需要と期待が高まっていることを意味しています。

豊かで持続可能な未来を築き、すべての人々に確固たる生活の質を提供することは簡単ではありませんが、挑戦は機会でもあるとエコラボは考えます。**私たちが協力して取り組みれば、問題を解決する以上の成果をもたらすソリューションを見つけ出せるはず**です。

エコラボは、世界中の企業がより多くのことをより良い形で実現するための支援を行っています。公衆衛生を守り、天然資源を保護しながら人々のニーズを満たすためには、産業の回復力が重要です。**今後10年間の意思決定が、持続可能な生活様式の実現を左右します**。エコラボのグローバルチームは、お客様が事業を発展させ、世界にポジティブな影響をもたらすことができるようサポートすることに注力しています。

目標に向かって行動し、力を合わせ、世界を変える

エコラボには、自社において、またお客様や地域社会との取り組みを通じて、世界にプラスの変化を促す能力があり、その責任もあります。エコラボは、変化を起こす力を備えています。人種的不平等、COVID-19が健康と経済にもたらす影響、水不足、そして何よりも気候変動など、世界が直面する多くの問題を考えたとき、その力は非常に重要です。当社はこのような問題解決の一端を担うことができる存在であり、また、担うべき存在なのです。

エコラボ本社のあるミネソタ州での **George Floyd** 氏の悲劇的な死によって、人種間の平等と社会的公正に向けて直ちに行動が必要であることが浮き彫りにされ、世界の注目を集めました。本レポートでも紹介しているように、エコラボはダイバーシティ&インクルージョンに関する新しい目標を始めとして、より迅速かつ着実な進捗に向けて尽力します。社内でのさらなる活動はもちろんな必要ですが、内部だけの取り組みでは不十分であると考えます。外部に向けた活動も、従来と比べて大幅に強化します。なぜなら、世間の不公平を無視しては、社内のダイバーシティ&インクルージョンを実現することはできないからです。エコラボのリーダーは他のコミュニティのリーダーと協力し合うことで、重要で持続可能な変化を起こすために必要な見識や視点を得ています。

世界が **COVID-19** の感染拡大に立ち向かったときと同様に、大きな課題に取り組むため、力を出し合うことが不可欠なのは明らかです。**COVID-19** が人々やビジネスに与えた影響は世界各地で異なり、介入や協調の程度やスピードに左右された部分も多くあります。今、世界が経験していることこそが、計画と準備がいかにレジリエンスを高めるか、あるいは弱めるかを示す強力な例と言えます。

エコラボの従業員がお客様と協力してこのウイルスの感染拡大防止に貢献し、回復を支援していることを誇りに思います。世界が再び地球規模の水不足問題や気候変動の大きなリスクに目を向けるときには、同様の熱心さと機敏さが求められるでしょう。ビジネスが深刻な経済的圧力に直面する今、新たな地球規模の災害を防ぐには、これらのリスクに対処しなければなりません。ビジネスモデルにサステナビリティ目標を統合することで得られる企業のレジリエンスが、これまで以上に求められるようになります。

エコラボは、お客様がより少ない資源でより多くのことを実現できるようサポートし、当社事業における責任を遵守しながら、常にサステナビリティと経済的利益を両立させながら事業を遂行してきました。このレポートでは、水、気候、食品、多様性、衛生に焦点を合わせた **2030年** までのサステナビリティ目標を発表します。これらの新たな目標をもって、当社はお客様との取り組みを通じてプラスの影響を伸ばし、当社業務内での取り組みの促進や、製品のサステナビリティに対するアプローチの拡大を実現し、またダイバーシティ&インクルージョンを促進し、職場と地域社会で価値を実践します。

達成が困難な目標であることは承知していますが、志を高く持てば、より多くのことを実現できると私たちは知っています。当社では常に革新

と改善を推し進めています。当社は、世界中のほとんどすべての業種のお客様とパートナーシップを築き、連携して水、エネルギー、廃棄物、コストを減らすソリューションを開発しています。このレポートでは、コラボレーションを通じて達成された大幅な節減および持続可能な価値の創出の事例を紹介しています。

エコラボは、全世界の **300万** 近い拠点で日々お客様と共に働き、世界中に絶大なインパクトをもたらしています。当社は、**2019年**にお客様への協力を通じて、合計 **2,060億** ガロンの水の節約（**7億1,200万人** が1年間に必要とする飲料水に相当）、**28兆 Btu** のエネルギーの節約、**150万** トンの温室効果ガス排出の回避を実現しました。

これらの数字には、パートナーシップによって得られる優れた効果が反映されています。変化する世界の需要に応えるには、地域社会と企業の回復力を向上させるために協力して働き、変革を行う必要があります。

世界中の企業が、気づきから行動への移行、共同体の誓約への参加、意欲的目標の設定を実践し始めています。持続可能で公平な選択をすることが社会のためにも事業のためにも正しいという認識は広がりつつあります。

地域社会とお客様の成功がエコラボの成長につながります。私たちが成長すれば、世界中により多くのプラスの影響をもたらすことができます。世界をより清潔に、安全に、健康的にし、地域社会と事業を成功させながら人々や大切な資源を守るというエコラボの使命にしっかりと基づきながら、**10年後の未来**を見据え、意欲的に取り組んでゆく所存です。



Douglas M. Baker, Jr.

会長兼 CEO

会長兼 CEO のメッセージと目次.....	2	2020年度の目標とパフォーマンス.....	23
数字でみるエコラボ.....	3	ウォータースチュワードシップ.....	25
eROI.....	4	イノベーション.....	27
持続可能な未来の構築.....	5	水管理ツール.....	29
2030年インパクトゴール.....	7	製品のサステナビリティ.....	31
エコラボのカスタマーインパクト.....	9	ダイバーシティ&インクルージョン.....	33
パートナーシップを通じて推進.....	11	コミュニティリレーション.....	34
ケーススタディ.....	13	安全.....	35
目標達成への取り組み.....	19	受賞・表彰.....	37
国連 SDGs に沿った目標.....	21	概要と資料.....	38

フットプリント

300万

カ所におよぶ顧客拠点

170

カ国以上

歴史

97

年の成長と革新の歴史

人材

50,000

名の従業員

27,000

名のセールス・サービス担当者

研究

19

グローバルテクノロジー&イノベーションセンター

スチュワードシップ

1,300万ドル

2019年にエコラボ財団、企業寄付、ボランティア活動を通じて支援

イノベーション

10,000+

件の特許

1,600

名の研究、開発、エンジニアリングの専門家

事業パフォーマンス改善と トータルコスト削減により、 持続可能な成果を獲得する

価値とは何でしょうか。なぜ重要なのでしょうか。

価値創造は、あらゆるビジネスにとって主要な目的です。価値が成長を促進するからです。価値創造とは、お客様、パートナー、地域社会にポジティブで有意義な影響を与えることを意味します。

価値の提供によりお客様を支援する

現在でも未来でも、経済的な成功を収めるには、持続可能なビジネスモデルの構築が不可欠です。エコラボは、オペレーション効率、品質、安全性、環境面でのメリット（水やエネルギー使用量または温室効果ガス排出量の削減など）を通じて成果を持続的に達成することで、お客様をサポートすることに注力しています。



eROIによる成果の数値化。

eROIは、指数関数的な投資収益率を意味します。eROIはエコラボのソリューションとサービスがもたらす利益を測定する方法であり、お客様の投資利益率を数値化するのに役立ちます。この数値は、パフォーマンスの向上、オペレーション効率の向上、環境への影響の改善を示します。エコラボのソリューション、知見、手法を採用すると、お客様の事業を改善するだけでなく、成長の過程をさまざまな指標によって記録し、価値を証明することができます。2019年に、産業関連分野におけるeROIプロジェクトでは年間2億7,500万ドル以上の削減を実現しました。

本レポートで取り上げているケーススタディでは、エコラボがパートナーシップ、知見、技術、トレーニングを通じてどのように成果を出しているかについて紹介しています。

エコラボは、お客様の価値の設定と創出をサポートすることで、お客様が世界中で創造する価値をさらに高めることができるよう支援いたします。お客様の意欲的な目標に沿った取り組みにより、ビジネスの飛躍的成長とサステナビリティの促進を実現します。私たちは、より大きな目標に向けて共に取り組むパートナーです。

レポートで使用する以下のアイコンは、達成した成果の種類を示しています。



水



エネルギー



廃棄物



温室効果ガス



生産性



資産保全



食品衛生



収益性



健康と安全

持続可能な 未来の構築

すべての人々の生活の質を高めるソリューション

世界は複雑さが増す一方で、可能性も増えています。私たちは価値を創造し、明るく繁栄した未来を築くことを目標に取り組んでいます。これからの新たな10年の始まりの年に、当社は、2030年までのサステナビリティ目標に着手します。お客様へのサポートおよび自社の事業運営を通じて意欲的な目標を達成すべく、エコラボはポジティブな影響を生み出すために皆さまと共に取り組みます。

力を合わせ、より健全な世界に

今後10年間は、ポジティブな影響をもたらす、サステナビリティにおけるリーダーシップの模範となるための重要な機会です。当社は、この役割を果たす準備を整え、次世代となる2030年に向けたインパクトゴールへの取り組みを開始しています。エコラボ、地域社会、お客様、地球のために生み出す変革に注力します。



2030年までにポジティブな影響を創出します

世界中で

人々と貴重な資源を守りながら、エコラボの技術とサービスはお客様の投資収益率（eROI）の指数関数的増加を支援します。当社の2030年インパクトゴールでは、お客様が事業を発展させ、ポジティブな影響を生み出すためのグローバルチームによる取り組みを紹介します。以下の達成を目指します。



水

3,000 億ガロンの水を節約できるよう支援
(10 億人分の飲料水に相当)

進捗状況の計測：
当社の節水技術と業界固有の前提に関連する世界的販売データとビジネス成長。

食品

高品質で安全な食品を**18 億人**に提供し、
1,100 万人を食中毒から予防

進捗状況の計測：
当社のフード&ビバレッジ事業における生産データおよびビジネス成長、クイックサービースレストランおよびフードリテールサービスのお客様が提供した食事の数、米国の年間食料消費量。

気候

温室効果ガス排出量を**450 万トン**削減することでカーボンニュートラルを実現、**730 万人**を公害病から予防

進捗状況の計測：
当社のエネルギー削減技術と業界固有の前提に関連する世界的販売データとビジネス成長。

衛生

毎年**500 億**の手を清潔にし、**1 億 1,600 万人**に安全な医療を提供することで、**170 万人**を感染症から予防

進捗状況の計測：
洗浄された医療器具の平均数、化学薬品の販売、ビジネス成長。

当社の事業運営

お客様との取り組みによるインパクトと並行して、自社の事業運営を通じて変化をもたらします。国連「持続可能な開発目標」(SDGs)へのコミットメントとして、環境に対する果敢な目標に加え、当社では受容性と多様性に富み、公正で安全な従業員のコミュニティづくりにフォーカスした新しい目標を設定しました。2030年までに以下の取り組みに注力します。

6 CLEAN WATER AND SANITATION

水資源にプラスの影響をもたらす

水問題は世界的に常態化しています。このままでは、2030年までに世界中で真水が**40%**不足する事態になります。¹そのため、エコラボでは水資源にポジティブな影響をもたらすための取り組みを実施します。以下を計画しています。

- 取水量の**50%**以上を回復し、水資源が不足する危険性の高い水域周辺で「アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ」(AWS) 認証を取得する
- 全社にわたって生産単位ごとに**40%**削減という水資源へのプラスの影響目標を達成する

5 GENDER EQUALITY

ダイバーシティ&インクルージョンを促進する職場づくり

持続可能な未来を築くには、環境目標を達成するだけでは十分ではありません。最近起こった一連の出来事によって、エコラボ社内でも社会においても、より迅速かつ深い次元で改善を進める必要性が高まりました。従業員の多様性と包摂性、そして明確な目的を持ったチームこそが、従業員個人、当社、お客様、そして地域社会の成功に不可欠であると考えます。これらの目標は、エコラボ組織内での人種的平等および社会的公正の促進に向けた重要な変化を推し進める最初の一歩です。取り組みの対象は以下のとおりです。

- 国連「持続可能な開発目標」目標5の達成：**
- 女性のジェンダー平等の実現
 - エコラボ社内における賃金の平等を**米国内で維持、また世界へと拡大
 - 管理職レベルのダイバーシティを**35%に引き上げ、男女平等の最終目標を実現
 - 管理職レベルの民族的・人種的な多様性を**25%に引き上げ、あらゆるレベルで米国従業員における基準モデルを実現または超越する

13 CLIMATE ACTION

炭素排出量の削減に取り組む

気候変動防止への貢献はもはや選択の余地はありません。科学的根拠に基づいた目標を設定することで、企業は自社の今後の成長への道筋を明確に定義できます。エコラボは、2030年までに炭素排出量を**50%**削減し、2050年までに実質ゼロにします。2030年までに再生可能エネルギーの使用率を**60%**まで向上させ、2050年までに再生可能エネルギーの使用率を**100%**にします。取り組みの対象は以下のとおりです。

- スコープ1:** エコラボが所有または管理している領域から直接排出される温室効果ガス
- スコープ2:** エコラボが所有または管理している領域から間接的に排出される温室効果ガス
- スコープ3:** エコラボが所有または直接管理していないが、当社の事業活動に関連する領域から排出される温室効果ガス

当社の取り組みの詳細については、21ページをご覧ください。

GOAL ZERO

「ゴールゼロ」を掲げ、すべての職場で安全を最優先とする

当社の安全目標は常に事故ゼロです。ただし、ゼロという目標は単なる数値目標ではありません。当社の施設とお客様の拠点の両方で、トレーニングと教育を行うことを重視しています。エコラボの拠点だけでなく、業務を行うすべての場所で、作業を開始する前にリスクを評価して、安全に関わる問題を発見して対処し、危険な状況を改善します。2030年までに、常に**100%**安全な状態で業務を遂行するように、従業員全員を対象に研修教育を実施します。

1 "Charting Our Water Future." https://www.mckinsey.com/~Media/Mckinsey/Dotcom/client_service/Sustainability/Pdfs/Charting%20our%20water%20future/charting_our_water_future_full_report_Ashx, McKinsey, 2009.

2019年、お客様とのパートナーシップによる成果：

2,060 億ガロンの水の節約
(7 億 1,200 万人分
の飲料水に相当)

1 兆 1,000 億ガロンの水を管理

水

28 兆 Btu 以上のエネルギーを削減し、
150 万トンの温室効果ガス排出を回避

世界の石油生産における **40%** の水と
エネルギーフットプリントを削減

世界の電力の **20%** 以上を供給

気候

年間 **750 万件**以上の食中毒を予防

世界中の包装された食品の **36%** 以上
および世界の牛乳供給量の **44%** 以上
の安全性を守る

キッチンの衛生をサポート、
レストランの食事 **580 億食**に相当

食品

400 億以上の手を清潔にし、
120 万件の感染症を削減

1,500 万室の病室と **35 億個**の手術器具
の衛生・洗浄・除菌

ホテル客室 **10 億室**以上を清潔にし、
人々の衛生安全を守る

衛生

パートナーシップを通じて推進

知見と行動により飛躍的に増大する価値

パートナーシップ、専門知識、ソリューションによって最良の結果を提供することができます。当社は、世界中のお客様のために価値を創造し、お客様が環境目標と事業目標の両方を達成できるよう支援し、お客様のサステナビリティへの意欲の向上させる取り組みを行っています。当社独自の知見と技術により、お客様、そして世界に、ポジティブな成果と長期間にわたる影響をもたらすことができるような次世代のソリューションを提供します。

Exelon Generation. **Exelon Generation による信頼性の高いクリーンなエネルギーの供給**



インサイト

あらゆる業種から個人に至るまで、電力は日常生活に不可欠です。電力事業のリーダーとして、Exelon Generation は、安全で信頼性の高いエネルギーの生成に取り組んでいます。Exelon Generation は米国において二酸化炭素を排出しない原子力発電所の主要な事業者です。環境スチュワードシップを最優先し、環境への影響をうまく管理することは、お客様と地域社会の関係強化に役立ちます。ナルコウォーターと提携して機器と水の監視・管理を改善することにより、

Exelon Generation は安全で、クリーンで、低コストのエネルギーの供給と環境の保護が可能になります。

イノベーション

確実に効率的なパフォーマンスへと改善するために、Exelon Generation は、ナルコウォーターの最新技術一式を使用しています。ナルコウォーターの、冷却水の殺菌と処理を行う Purate™ 二酸化塩素プログラムのような革新的な化学技術や、24 時間パフォーマンスの監視と管理を行う 3D TRASAR™ テクノロジーを使用して、ポジティブな成果を挙げる

べくチームが協力して取り組んでいます。変化やリスクを早期に検出して解決するために、Exelon Generation は、OMNI™ 復水器分析プログラムを実装しています。このプログラムは、現在のパフォーマンスと意図されたパフォーマンスを常に比較し、潜在的な問題を事前に検出します。

インパクト

現場の専門知識と技術を通じて、ナルコウォーターは、Exelon Generation がクリーンなエネルギーを確実にかつ効率的に利用者と地域社会に提供しながらも、水の使用量を削減し、化学物質の使用量と廃棄を最小限に抑え、環境に与える影響を抑制できるよう支援しました。

活用したソリューション

- 3D TRASAR™ テクノロジー
- Purate™ テクノロジー
- OMNI™ プログラム
- 現場の専門知識



年間削減量

eROISM
by Ecolab

水

15 億 6,000 万

ガロン (590 万 m³) の節水

エネルギー

1,100 万

kWh 削減

生産性

210 万ドル

効率の改善により削減

資産保全

42 万ドル

腐食のリスク削減と資産の最適化により削減

健康と安全

76 万ドル

化学品の曝露リスクの最小化により削減

実現された価値

498 万ドル

TRUE FOOD KITCHEN True Food Kitchen の業界最高クラスの食品衛生をサポート



インサイト

倫理的な事業運営がますます重視されるようになりつつある今、サプライヤーとのパートナーシップは、さらなる監視が必要な領域になったと同時に、組織の価値を実現する機会にもなっています。

米国に拠点を置く True Food Kitchen は、風味豊かなおいしい料理と意識的な栄養供給に特化したレストランチェーンです。各店舗では、お客様のために抗炎症作用の高い食材を使った料理を提供しています。健康に焦点を合わせ、食品衛生を最優先事項としています。True Food Kitchen は環境に配慮した経営を維持しながら、同時に利用者と従業員の安全を守ることでできるソリューションを求めています。

イノベーション

正しい食品衛生技術の実践は、お客様を守るだけでなく生産性の向上にもつながります。Daydots™ Prep-n-Print™ システムをはじめとするエコラボのソリューションを利用することで、True Food Kitchen は時間がかかっていた手作業によるラベリングをやめ、すべての食材の保存可能期間と栄養価が明確にわかるようにしました。

食品衛生の範囲は、食品の準備から料理を載せる食器にも及びます。True Food Kitchen の食器を常に清潔に保つために、エコラボは食器洗浄機に SMARTPOWER™ プログラムを導入し、より短時間で水の使用量も少ない洗浄サイクルで食器の汚れを落とせるようにし

ました。

水をさらに節約するため、エコラボは True Food Kitchen の軟水器もアップグレードしました。非効率な旧式の「全館型」ろ過装置を、具体的な用途に特化したポイントオブユース (POU) 型の新しいろ過システムに取り換えることで、1日の水使用量を削減できるようになったのです。

インパクト

エコラボのソリューションにより、True Food Kitchen は自らが最も得意とする分野、すなわち健康的な食事でお客様に満足と安全を提供することに集中できるようになりました。しかも同時に時間を節約し、サステナビリティに関する宣言を守ることもできたのです。

活用したソリューション

- SMARTPOWER™ プログラム
- Daydots™ Prep-n-Print™ システム、Prep-n-Print™ フレックス
- 大容量軟水器、ポイントオブユース (POU) モデル
- GREASELIFT™ 油汚れ除去用洗浄剤

年間削減量 eROI™ by Ecolab

水

336 万

ガロン (12,740m³) の節水

エネルギー

49 億

Btu のエネルギー削減

廃棄物

20,500

ポンド (9,320kg) 廃棄物削減

温室効果ガス

261

トンの CO₂

生産性

29,100

時間 (フルタイム従業員 14 人分の年間労働時間に相当)

資産保全

18,700 ドル

の資産を保全

食品衛生

17.7%

業界平均より高いパフォーマンス率

実現された価値

496,000 ドル

gsk GSK におけるサステナビリティと安全性の向上



インサイト

GlaxoSmithKline (GSK) は、グローバルヘルスケア企業であり、医薬品、ワクチン、コンシューマーヘルスケア製品の発見、開発、製造を行っています。製品および製造過程の安全性を確保することを最優先事項としています。世界中の人々の健康を改善するという点で長期的に影響をもたらすことが重要となります。この目標には、温室効果ガス排出量の削減、水資源の節約、廃棄物の有効活用に取り組むことで、2030 年までに環境への影響を 25% 削減するという公約が含まれます。

イノベーション

GSK の現場では、製品を安全に製造して保管するために、一定の温度を保持する必要があります。ボイラー、冷却塔、冷却装置、および温度管理に関連するその他のシステムを常に稼働させている必要があり、多くの場合に大量の水が必要となります。

GSK は、2005 年にエコラボのグループ会社であるナルコウォーターと開始したパートナーシップを通じて、安全で持続可能な事業運営を行えるようエコラボと提携しています。現在 GSK は、世界中に 130 以上の 3D TRASAR™ テクノロジーを導入しており、常にこのシステムで水を監視しています。この技術の使用によりメンテナンスの必要性を減らし、水の再利用、エネルギー使用量の最適化を図ることで、水とエネルギーを大幅に節約することができます。この取り組みは GSK の Sustainability Supplier Award を受賞し、「カーボンフットプリントに取り組み、現在および将来に与える影響を小さくするために、大胆で戦略的な改革を行った」ソリューションとして評価されました。

ナルコウォーターとライフサイエンス事業部

の双方の専門技術を合わせることで、CIP (定置洗浄) および OPI (プラントの開放洗浄) によりクリーニングと衛生管理の効率を高め、レジオネラ菌リスク管理プログラムにより水中病原体のリスクを最小限に抑えることができました。

インパクト

GSK はエコラボとのパートナーシップにより、水とエネルギーの使用量と温室効果ガス排出量の削減目標の達成により近づきました。また GSK は、エコラボの PORTA-FEED™ プログラムによって、使い捨てのプラスチックドラムをスチール製の再利用可能なバルクコンテナに切り替え、固形廃棄物を削減しました。これにより、化学薬品用ドラムの廃棄が 80% 以上削減され、従業員が化学物質を取り扱う必要がなくなったことで安全性も向上しました。

活用したソリューション

- 3D TRASAR™ 水管理技術
- レジオネラ菌リスク管理
- CIP (定置洗浄) 洗浄剤
- OPI (プラントの開放洗浄)
- 汚染制御サービス
- PORTA-FEED™ 化学薬品配送保管システム

年間削減量 eROI™ by Ecolab

水

1 億 8,000 万

ガロン (70 万 m³) の節水

エネルギー

39 億

Btu (111 万 kWh) のエネルギー削減

廃棄物

1,500

本のプラスチックドラムを PORTA-FEED™ プログラムにより削減

温室効果ガス

202

トンの CO₂

生産性

3,000

時間分の労働力を、化学薬品の取り扱い回避により獲得

資産保全

130

件以上の 3D TRASAR™ 導入により、冷却塔、ボイラー、冷却ループを保護

実現された価値

623,000 ドル

SABIC が 100 万ドル以上の削減に成功



インサイト

世界各地で水不足が進行しており、各産業の生産プラントではより少ない水でより多くのことを行う方法を見つけなければなりません。

SABIC は世界最大級の石油化学メーカーです。中東にある SABIC の大規模石油化学コンビナートの多くは、冷却塔に海水を使用しています。海水の性質上、生物付着やスケリングのリスクは高くなります。SABIC は、海水冷却塔における水とエネルギー使用の削減方法を探る一方で、大切な設備をスケリングや生物付着から保護する革新的なソリューションを必要としていました。

イノベーション

SABIC が持つ最大の石油化学コンビナートでは、施設の全電力消費量の 28% が海水冷却塔で使用されていました。再循環の回数を増やして冷却塔の水の再利用率を上げることで、水とエネルギーの使用量削減が見込めました。

システムの清潔度を高めるため、エコラボは Purate™ テクノロジーを導入しました。これは使いやすく費用対効果が高い二酸化塩素生成方法であり、大規模海水システムの化学的危険性の軽減に役立ちます。Purate™ テクノロジーは、熱交換システム（流体間での熱移動に使用）の表面への生物付着量の削減につながりました。また、夏は高温になる地域のため冷却が困難でしたが、手作業による洗浄が減ったため、夏季の生産率も向上しました。

Purate™ の他にも、エコラボは 3D TRASAR™

テクノロジーを導入し、海水スケリングツールと組み合わせて、再循環回数を安全にモデル化し、水とエネルギーの節約を実現しました。

インパクト

3D TRASAR™ テクノロジーと Purate™ の導入で、再循環回数が増加し、海水取水量が減少しました。また、定期的にプラントのポンプやファンを停止できるクリーンな仕組みになったので、エネルギー使用量も大幅に削減されました。エコラボのソリューションは、冷却塔稼働費用、水と化学薬品の使用量の削減、全体的なエネルギー使用効率の向上と夏季の生産率の確保によって、合計 300 万ドルの節約につながりました。

活用したソリューション

- Purate™ テクノロジー
- 3D TRASAR™ テクノロジー
- 熱交換器性能監査

年間削減量

eROI™
by Ecolab

水

1,810 万

ガロン (68,600 m³) / 時の海水調製

エネルギー

2,600 万

kWh のエネルギー

温室効果ガス

18,300

トンの CO₂

生産性

夏場の冷却ボトルネックを解消し、推定で

1,000 万ドル

生産性が向上

資産保全

生物付着の制御により、年間

2 ~ 3 回

の洗浄を削減

68%

化学物質運搬トラックの移動を削減

64 万ドル

の化学物質関連費用を削減

実現された価値

1,112 万ドル

デジタルインサイトを活用し院内感染率の低下に貢献



インサイト

正しい手指衛生の実践は、健康な毎日を過ごす上で誰にとっても役立つことです。病院では特に重要です。手指の衛生は、治療を受ける患者の院内感染（HAI）の最も効果的な予防法です。¹ 毎年、全世界で何百万人もの患者が院内感染しています。² 米国の病院では、毎日、患者 31 人中 1 人が院内で何らかの感染症に罹患し、年間 75,000 件の院内感染関連死が確認されています。³

イノベーション

感染拡大予防のため、エコラボは手指衛生遵守監視システムを開発しました。これは手指衛生の注意喚起を行う電子システムで、病院内で最高レベルの継続的な手指衛生遵守を達成できるように開発されたものです。電子バッジにより各病床周りでの手指衛生の実施状況を個人単位で記録し、医療従事者の責任を明確化するとともに、改善を促すリアルタイムの警告とガイダンスを提供することで安全ではない患者とのやりとりを防止します。

インパクト

米国の 5 つの病院（合計 1,609 床）に監視システムを導入してから 2 年後に行われた遡及的な調査では、5 つの病院すべてで手指衛生遵守レベルが 86 ~ 90% に改善したことがわかりました。⁴ 米国疾病管理予防センター（CDC）は、米国の病院の手指衛生遵守レベルは平均で約 40% と推定しています。⁵ さらに重要な点は、5 つの病院すべてで院内感染の年間合計発生率が減少し、手指衛生遵守監視システムが院内感染のリスク低下と患者の安全の向上に役立つことを示しています。その他のメリットとしては、院内感染治療による入院延長が減ることで新しい患者の受け入れが可能になることや、手指衛生の遵守を医療従事者が直接見て確認する必要がなくなり、生産性が向上することなどがあります。

活用したソリューション

- エコラボ手指衛生遵守監視システム

年間削減量

eROI™
by Ecolab

収益性

29%

の院内感染（HAI）削減により

392 万ドル

を削減

感染症の減少により

1,189

延べ入院日数の余裕が生じ、

255 万ドル

の追加収益の機会を創出

健康と安全

手指衛生遵守率の増加・維持

86 ~ 90%

実現された価値

647 万ドル

年間

1 Centers for Disease Control and Prevention (CDC), <https://www.cdc.gov/handhygiene/>

2 World Health Organization, https://www.who.int/gpsc/country_work/gpsc_ccisc_fact_sheet_en.pdf

3 CDC, https://www.cdc.gov/hai/data/index.html?CDC_AA_refVal=https%3A%2F%2Fwww.cdc.gov%2Fhai%2Fsurveillance%2Findex.html

4 Demonstrating a Decrease in HAIs across 5 hospitals, 2019 Ecolab research study

5 Sickbert-Bennett E.E. et al. Reduction of healthcare-associated infections by exceeding high compliance with hand hygiene practices. Dispatch; Vol 22, Number 9, September 2016

目標達成への取り組み

当社の事業運営、イノベーション、協力

お客様とのパートナーシップを通じて、また自社の事業運営においても、エコラボはさらなる向上を目指して日々邁進しています。世界各地の自社施設、開発するすべてのソリューション、従業員一人ひとりにおいても、それは同じです。サステナビリティは、エコラボの行動すべてを導く価値基準なのです。

パートナーシップを通じて国連「持続可能な開発目標」の達成を目指す



国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)は、すべての人々にとってより良い持続可能な未来を実現するためにさまざまな世界的課題を解決するものです。エコラボでは特に、清潔な水へのアクセスの確保(目標6)と気候変動への対策(目標13)に焦点を合わせ、これらの目標達成に向けたパートナーシップとプログラムに取り組んでいます。



水に関する 2019 年度の実質的な影響

自社業務での水の節約に加え、お客様のサポートを通じて、自社業務で使用した水の 82 倍の水使用量を削減

当社業務における
2019 年の取水量：
25 億ガロン

エコラボのお客様が削減した水使用量 2,060 億ガロン。7 億 1,200 万人分の飲料水に相当

炭素に関する 2019 年度の実質的な影響

自社業務における排出削減に加え、お客様のサポートを通じて、自社業務での排出量の 2.2 倍の排出を削減

エコラボの排出量：
66 万
トン (CO₂e)

お客様が削減した炭素排出量：
150 万
トン (CO₂e)



目標 13 では、入手可能で大規模に実現可能なソリューションの採用により、気候変動の脅威に対する対応をグローバルに強化することが求められています。国連の気候変動政府間パネルによると、気候変動の最悪の事態を回避するためには、地球温暖化を 1.5°C (2.7°F) 以下に抑える必要があります。

国連グローバル・コンパクトの「BUSINESS AMBITION FOR 1.5°C」への参加

2019 年、エコラボは自社事業とサプライチェーンについて国連グローバル・コンパクト「Business Ambition for 1.5°C」への賛同を表明し、炭素排出量を 2030 年までに 50% 削減し、2050 年までに実質ゼロにすることを目標に掲げました。

目標達成に向けてエコラボは以下に取り組めます。

- 全世界の事業で使用するエネルギーの 100% を再生可能エネルギーに移行します。
 - 現在、エコラボのヨーロッパで使用する電力の 99% が再生可能エネルギーによるものです。
 - 再生可能エネルギー事業者である Clearway との仮想電力購入契約 (VPPA) により、米国におけるエコラボの年間消費電力の 100% をまかなえるようになります。
- エコラボの施設でエネルギー効率化プロジェクトを展開します。
- 業務用車両を電気自動車に切り替えます。
- サプライチェーンのパートナー各社に対し、同様に気候変動に関する意欲的な目標の採用を呼びかけます。
- 世界各地のお客様に、水資源の保全による回復力強化を推進します。このことが、加熱、加工、移動、冷却に必要なエネルギーと炭素排出量の削減につながります。

ターゲット 13.2.1 に準拠

パブリックエンゲージメント

エコラボは気候変動を防ぐための公的活動に携わってきました。国連グローバル・コンパクトの「Business Ambition for 1.5°C」への参加に加え、エコラボ経営陣は 2019 年 9 月に開催された国連総会の水および気候関連のパネルや Climate Week NYC にも参加しています。

ターゲット 13.2 に準拠

自然を基盤としたソリューション

エコラボは、ミシシッピ州ロックリブンの The Nature Conservancy とのパートナーシップを通じて、ミシシッピ川上流域の水供給を 1 億ガロン増加させることに貢献しました。詳細は 25 ~ 26 ページをご覧ください。

ターゲット 13.1 に準拠



目標 6 は 2030 年までにすべての人々に水と衛生へのアクセスを確保することを求めるものです。当社のお客様への支援を通じて年間 1 兆ガロンの水を管理しています。これほどの専門技術を有する当社だからこそ、他とは一線を画した立場でこの目標に貢献できるのです。

目標 6 に沿った責任ある水利用の推進に関する当社の活動の一部を紹介します。

目標

お客様がより少ない水でより多くのことを行うことができるソリューションにより、2030 年間 3,000 億ガロンを節水するとともに、自社事業においても水使用量を削減します。

ターゲット 6.1、6.4、6.5 に準拠

共同活動

- California Water Action Collaborative (CWAC) メンバー
- アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ (AWS) の創設メンバー (詳細は 25 ~ 26 ページをご覧ください)
- 国連 CEO Water Mandate を通じた Water Resilience Coalition の創設メンバー

ターゲット 6.1、6.4、6.5、6.6 に準拠

パートナーシップ

水資源の回復と保全に関するリソースや教育を提供する組織とパートナーシップを結んでいます。
The Nature Conservancy - ミシシッピ川源流の保護 - Solution for Life Project WET Foundation - 次世代に向けた水資源保護関連教育

ターゲット 6.6 に準拠

公開オンラインツール

エコラボの Water Risk Monetizer は水に関するリスクを金額に換算して、水が不足する環境での責任ある意思決定を可能にします。 waterriskmonetizer.com

Smart Water Navigator は企業の水使用量削減目標と現場における実際の成果の間のギャップを埋めるお手伝いをします。 smartwaternavigator.com

ターゲット 6.1、6.4、6.5 に準拠

2020 年度の目標に向けた進捗

2030 年に向けてサステナビリティの取り組みは次の段階に照準を合わせ、2015 年に設定した 2020 年サステナビリティ目標に向けて前進を続けています。お客様への価値創出と飛躍的な成果の提供に加え、世界各地の自社施設の生産性を向上しながら、環境にポジティブな影響を与えることに尽力します。

エコラボの 2020 年度目標

水関連のプラスの影響
目標に向けて順調に進
んでいます

25%

用水原単位のインパクトゴールは、自社業務での需要の削減と、当社が事業を行う水域周辺部での水供給の増加を中心としています。

温室効果ガス
排出量削減目標に向け
て順調に進んでいます

10%

温室効果ガスの排出目標は、当社が運用管理する施設および車両でのスコープ 1、2 の排出削減に焦点を置いています。

2020 年度の目標達成に貢献した 2019 年の取り組み事例

水需要の削減

米国ルイジアナ州ガリービル
取水量を 20% 削減

逆洗技術を標準化してミシシッピ川から取得する水を浄化し、工場で水リサイクルの仕組みを導入

中国南京
取水量を 20% 削減

逆洗水の削減と工場全体での排水再利用を実現

米国イリノイ州ジョリエット
取水量を 14% 削減

社内水道メーターと、少ない水で効率的に洗浄できるシャワーボールを混合タンクに設置

水供給の増加

米国ミシシッピ川上流域の水供給を
1 億ガロン (37 万 9,000 m³) 増加

ミシシッピ州ロックリープンにおける The Nature Conservancy とのパートナーシップを通じて達成

米国ミシシッピ川源流での水供給を 1,600 万ガロン
(6 万 1,000 m³) 増加

The Nature Conservancy とのパートナーシップによる Minnesota Headwaters Fund への支援を通じて達成

事業目標と成果についての詳細は、2019 年の企業責任 GRI 報告書をご覧ください。

2015

2020

2019 年の実績

2020 年度目標の終盤に差し掛かり、水関連のプラスの影響は目標を達成できる見込みです。また、温室効果ガス排出は目標を大幅に上回る成果が出ています。

注：原単位は収益に正規化

2020 年度の目標
水関連のプラスの影響原単位を 25% 削減

2019 年の実績
水関連のプラスの影響原単位を 14% 削減

これまでの達成率 56%

2020 年度の目標
温室効果ガス排出原単位を 10% 削減

2019 年の実績
温室効果ガス排出原単位を 15% 削減

これまでの
達成率 150%

回復力ある水資源の未来を築くために共に取り組む

ウォーター・スチュワードシッププロジェクトの候補地となるための条件とは何でしょうか。ここに示す流域地図には、ガリービルにあるエコラボの施設がアライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ (AWS) 認証を取得するに至る、構成要素が描かれています。The Nature Conservancy とパートナーシップによるこのプロジェクトは、水収支、水質、そして現地の生態系、そのステークホルダーと当社工場との関係に重点を置いています。

ミシシッピ川上流域での活動

ルイジアナ州ガリービルにあるエコラボの工場は、排水処理に使用する化学物質やポリマーを製造する化学反応プラントです。工場があるミシシッピ川流域は、北米最大の源流であり地域の経済と社会の健全性の要です。工場用水はミシシッピ川から直接引き込み、施設内で前処理を施しています。

流域保全

流域はさまざまなリスクにさらされています。

- 自然災害
- 気候変動の影響の加速
- 水質汚染
- 化学物質の流出
- 湿地帯の在来生物種の喪失

ガリービル工場には、施設の回復力を強化する盤石な緊急対応計画と事業継続計画があります。

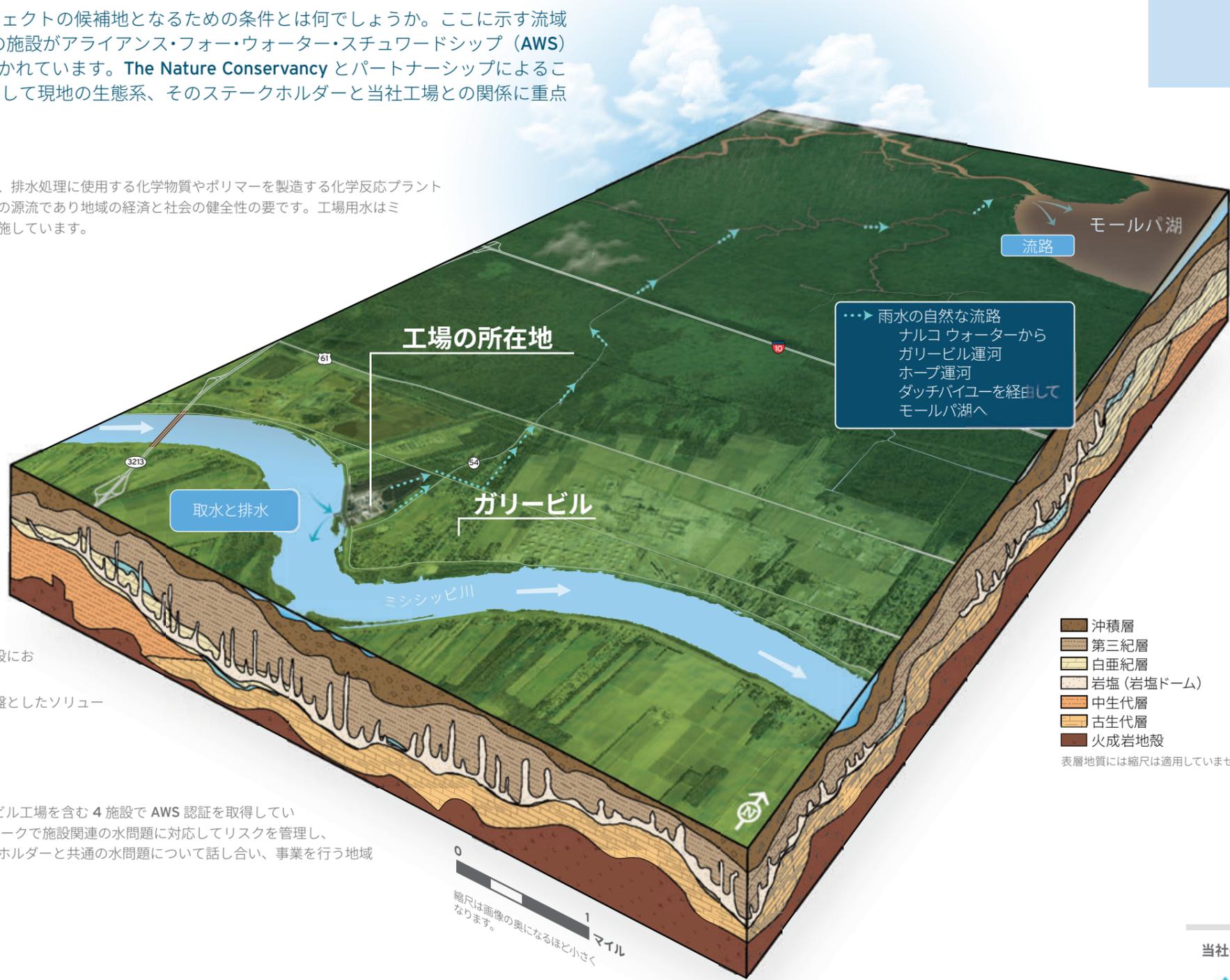
実質的にプラスになる水対策アプローチの策定

水不足に悩むこの流域の健全性に貢献するため、ガリービル工場は実質的にプラスになる水対策アプローチによる、3つの方策を採用しています。

- エコラボのソリューションを活用することで施設における水使用効率の向上
- 流域における共通の水問題の理解と、自然を基盤としたソリューションによる対応
- AWS 基準の原則の実施

AWS 基準を通じた成果の提供

エコラボは AWS の創設メンバーであり、ガリービル工場を含む 4 施設で AWS 認証を取得しています。AWS 基準は、5つのステップのフレームワークで施設関連の水問題に対応してリスクを管理し、施設をサポートするものです。各施設はステークホルダーと共通の水問題について話し合い、事業を行う地域社会との関係を築く必要があります。



自然を基盤としたソリューションの採用

ミシシッピ川デルタ地帯のミシシッピ川下流アルビアルバレーでは、3つの重要な湿地が消滅の危機にさらされており、数多くの生物種の健全性に多大な影響を与えかねません。The Nature Conservancy とのパートナーシップにより、エコラボはロックリーンプロジェクトを支援し、1万エーカーの湿地の回復と拡大に努め、周辺地域に121億ガロン(4,580万m³)の洪水貯水量を提供しています。エコラボの貢献により、ミシシッピ川上流域の水量は1億ガロン(37.9万m³)回復しました。



当社のパートナー



専門知識とデジタルイノベーションによるインパクト

エコラボは創業以来、お客様が抱える課題を解決するための化学製品と技術を開発してきました。当社のソリューションは、オペレーション向上、事業リスクの軽減、環境への影響の最小化に役立ちます。デジタルテクノロジーを通じて得られた洞察により、お客様の事業の成長とサステナビリティ向上を支援します。

2019年のイノベーション

デジタルを活かした洞察、水不足、水の安全に関するお客様のニーズに対応したイノベーションをいくつかご紹介します。

ECOLAB3D™：エコラボの安全なクラウドベースのデジタルプラットフォーム

お客様の水使用量の最小化、成果の最大化、費用の最適化に貢献

ECOLAB3D™は、Microsoft と Accenture の協力を得て開発されたクラウドベースのデジタルプラットフォームです。エコラボのツールやシステムからデータを収集して、リアルタイムで警告を促し、プラントのオペレーションの強化とお客様の全施設を通じたパフォーマンスの評価を行います。このプラットフォームでは、食品・飲料工場や発電所から病院にいたるまで、お客様の事業に固有のニーズに応じてソリューションをカスタマイズできます。

全世界で真水の不足が進行するなか、企業が水使用の状況を理解して知見を行動に移すことが、スマートな水管理において重要となります。

ECOLAB3D™は、企業の水使用の監視、管理、削減の方法の改善や業績の向上、環境に与える影響の最小限化をサポートします。業界屈指の包括的水ソリューションであるエコラボの 3D TRASAR™ テクノロジーのデジタル機能、革新的な化学薬品、リモート監視機能を活用して、グローバルな事業パフォーマンスの推進や資産の強化、水使用の削減を行う仕組みです。洞察から実行可能な成果を生み出すことで、ECOLAB3D™はより大きな価値を提供し、企業のサステナビリティ目標と事業目標の達成を支援します。

水資源の健全性：RAPID BIO INTELLIGENCE

バイオフィーム（給水システムの表面に付着する有害バクテリア）の増殖を防ぐことは、安全で効率的な冷却システムの運用、水やエネルギーの使用量の最小化、機器の保護に不可欠です。

Rapid Bio Intelligence は冷却水中の微生物レベルを測定し、結果を15分以内にスマートフォンに送信します。他の試験法では最大48時間かかる場合がありますが、この方法では非常に早く結果を得ることが可能となります。

冷却水中の細菌レベルに関する問題がリアルタイムでわかるので、お客様はこれが懸念となる前に直ちに対応できます。Rapid Bio Intelligence は精度も高く、クラウドベースの記録に簡単にアクセスできます。

水の安全情報（WATER SAFETY INTELLIGENCE）

水の安全に関する従来の慣行は、難易度が高くて時間もかかり、複数のソースからのデータをまとめて評価する必要もありました。水の安全についての明確なイメージを企業全体に浸透させることはさらに難しく、施設ごとに試験要件の準拠状況を判断するのは困難でした。

Water Safety Intelligence は、ECOLAB3D™を活用した高度な分析によって水の安全の積極的管理と迅速な対応をお客様に促すデジタルサービスです。

Water Safety Intelligence は複数のソースからデータをまとめて評価することで、冷却水システムにレジオネラ菌（レジオネラ症を引き起こす細菌）が繁殖するリスクをお客様が把握できるようにします。高度な分析により、お客様は自社の水の安全プログラムの準拠状況を施設単位で監視でき、レジオネラ菌繁殖リスクを評価して、リスクが問題として顕在化する前に先手を打って対応することができます。

カスタマーフォーカスのソリューション開発

1,600

人の科学者、エンジニア、技術専門家

124

カ所の製造施設

10,000+

件の有効特許

19

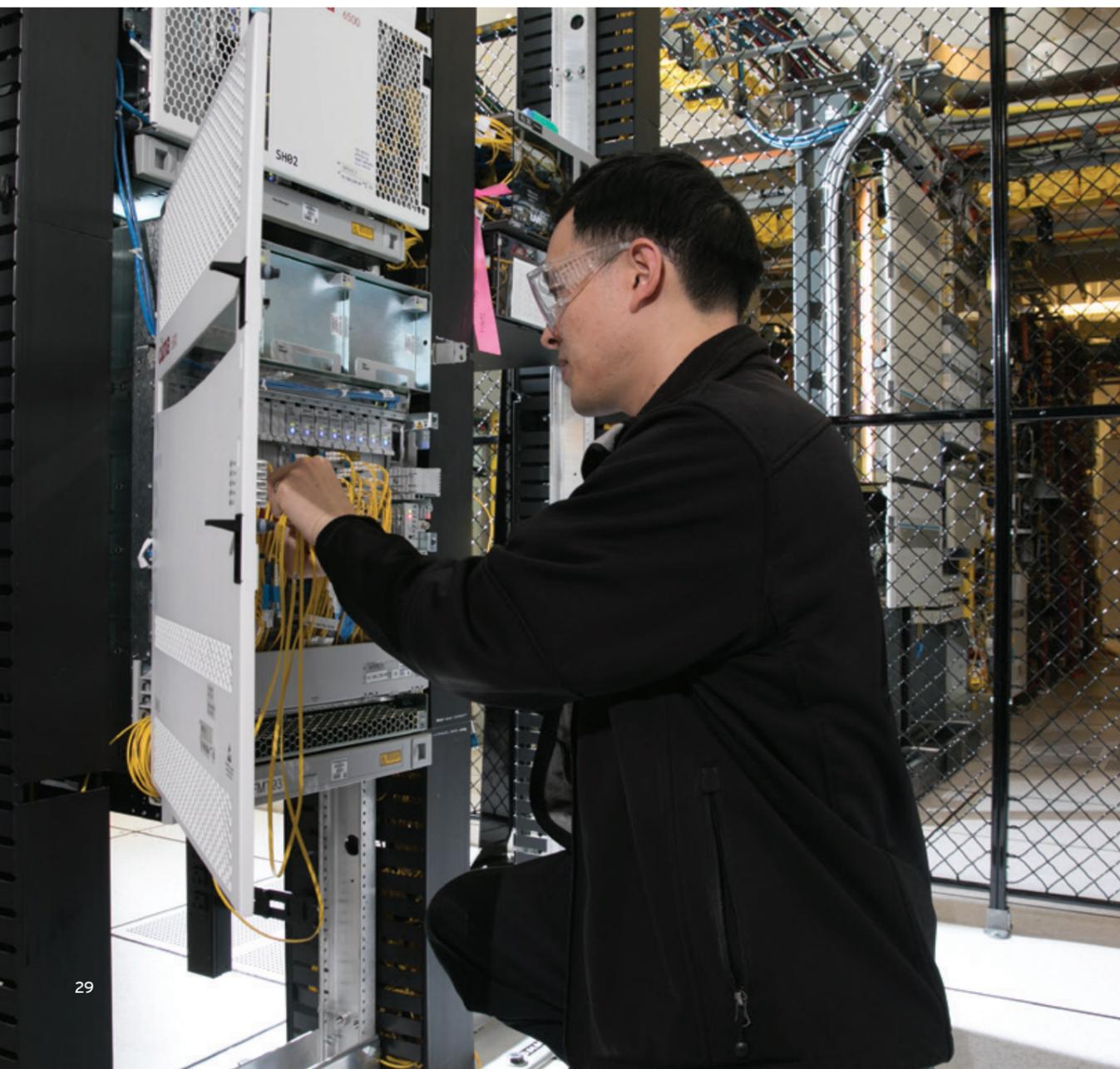
グローバルテクノロジー&イノベーションセンター





スマートな水管理に向けた アクションプラン策定

世界各地でデータセンター、コロケーション、相互接続に関するソリューションを提供するグローバル企業の Digital Realty には、水戦略の改善、全社での水使用量の最小化、信頼できるパフォーマンスの確保、水関連リスクからの事業保護という課題がありました。



DIGITAL REALTY の要望

- 自社のデータセンターのどこでどれだけの水が使用されているかを把握したい
- 水の回復力と余裕を強化し、ますます大きくなる水の量と質の問題に対応したい
- デジタルツールを使って監視と測定を向上したい

エコラボとのパートナーシップにより、同社は 3 ステップのアクションプランを策定しました。

ステップ 1:

エコラボの Water Risk Monetizer を用いて、早急に対処が必要なリスクの高い施設に優先順位を付ける

結果:

担当チームは施設を優先度順に整理し、水関連リスクが最も大きい施設を特定できるようにするマトリクスを作成しました。

ステップ 2:

エコラボの Smart Water Navigator を用いて、各施設での水使用の慣行を評価する

結果:

このツールのおかげで担当チームは、各施設ごとに水の使用と効率の向上のために現場のチームが実行できるような具体的な手順に集中することができました。

ステップ 3:

ナルコウォーターの 3D TRASAR™ テクノロジーを使って、効果的な水戦略を提供する

結果:

ナルコウォーターの 3D TRASAR™ ダッシュボードが全社規模での水使用の可視化、測定、監視を提供したことで、担当チームが各データセンターの水使用状況を追跡、傾向を把握、比較できるようになり、水プロジェクトでの削減が数値化されました。

エコラボの水管理ツールとアクションプランにより、Digital Realty はより効果的な水管理戦略をデータセンターに適用できるようになり、組織内の水使用についての理解も深まり、自社のオペレーションだけでなく流域と地域社会の改善や保護もできるようになりました。



エコラボが Trucost および Microsoft とのパートナーシップにより開発した Water Risk Monetizer は、水に関するリスクを金額に換算して企業の理解を促し、成長を可能にする責任ある意思決定を支援します。

waterriskmonetizer.com



エコラボの Smart Water Navigator は、業種、拠点、現在の水パフォーマンスに応じて、各施設に合った実践的で段階的なガイドを作成する公開ツールです。

smartwaternavigator.com



人と環境に配慮した製品設計

現在、製品とソリューションの全体的なインパクトに焦点を置くことが、かつてないほど重要になっています。エコラボでは、原料調達と製造から製品使用と最終処分にわたる製品ライフサイクル全体を考慮した包括的アプローチで製品を設計しています。これにより、お客様が人々と環境にとってポジティブな成果をもたらす選択を行えるようになるのです。

重要なインパクト

2019年、当社は自社製品の成果を評価する「重要なインパクト」フレームワークを導入しました。これは科学的根拠に基づく結果重視型の8つの基準によって、人々と環境への影響を最小限に抑えた製品の設計を支援するものです。このフレームワークは製品サステナビリティのグローバルなベストプラクティスに基づくもので、当社の製品が人々と環境に与える影響を示すために科学水準を利用しています。



パッケージのイノベーション

パッケージの継続的な改善も、製品のサステナビリティに関する取り組みの一部です。当社ではパッケージにも循環型デザインの原則を取り入れ、当社ソリューションにおいて廃棄物を削減し、再利用とリサイクルを増やすイノベーションを続けます。

プラスチックの削減

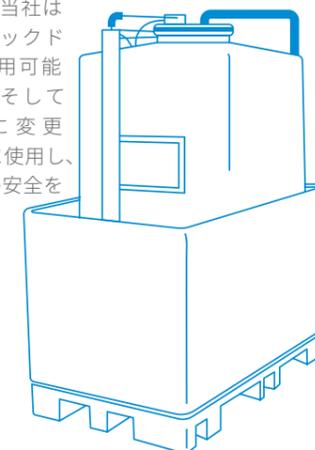
これまで重ねてきた製品とパッケージのイノベーションにより、当社はプラスチックフットプリント（プラスチック使用量）の大幅な削減が可能となりました。2019年は、バージンプラスチック使用量を1,560万ポンド以上削減しました。製法とパッケージのイノベーションにより2014年以降削減したプラスチックの流通量は8,680万ポンドに及びます。

1,560万
ポンドのバージンプラスチックを削減

8,680万
ポンドのプラスチックの流通を削減 (2014年以降)

再利用可能なパッケージ

30年以上にわたり、当社は使い捨てのプラスチックドラムやトートを利用可能なドラムやトート、そしてPORTA-FEED™ 容器に変更して工業用化学製品に使用し、お客様に最高レベルの安全を提供してきました。

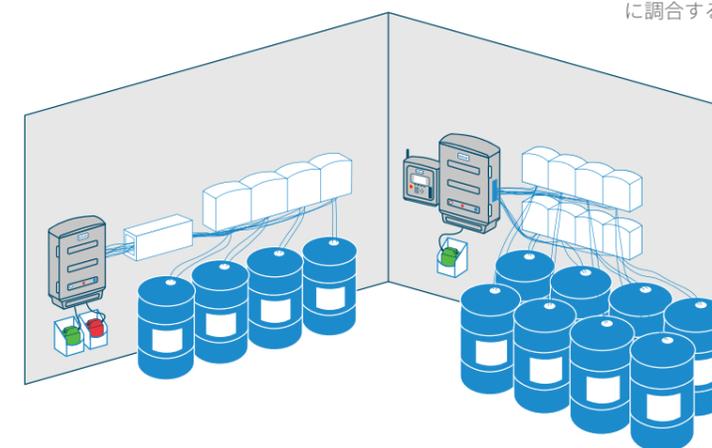


食品衛生強化とサステナビリティ向上を目的としたシステム

Quadexx™ Pro は、お客様に価値を提供しながら、当社のプラスチック削減目標と「重要なインパクト」基準の両方を満たす、システム工学の力のたまものです。

Quadexx™ Pro は自動のモジュラー式化学物質調合製剤ツールで、食品・飲料工場での衛生関連費用を削減し、工場の効率を高めると同時に、安全で持続可能な利益をもたらします。

このシステムにより、お客様は再利用可能なパッケージで提供されるわずか8種類の高濃度化学物質から100種以上の製品を作ることができます。また、事前に希釈した化学物質を自動的に調合するので、作業者の安全性も向上します。



詳細は、2019年の企業責任 GRI 報告書をご覧ください

ダイバーシティ & インクルージョンを促進する職場づくり

ダイバーシティ & インクルージョンが実現された職場は、従業員、エコラボ、お客様、そして地域社会が共に成功するための重要な基盤です。強固な基盤を築くために、当社の採用、リーダーシップトレーニング、人材育成プログラムには、ダイバーシティ & インクルージョンに関する基本方針が組み込まれています。すべての従業員が自らの能力を存分に活かせる職場環境をつくるため、世界規模でチームの研修教育とツールの提供を強化しています。

当社のすべての事業運営においてダイバーシティ & インクルージョンが確実に推進されるよう、上級経営陣チームが月例会議で重要な指標や取り組み（構成比における多様性、雇用慣行、人材の維持など）の進捗状況を評価します。

当社の採用、リーダーシップトレーニング、人材育成プログラムには、ダイバーシティ & インクルージョンに関するガイドラインが組み込まれています。

- 本年度は、Manager Essentials プログラムの一環として **3,000 人以上のマネジャー**がダイバーシティ & インクルージョンに関する新しい研修プログラムを受講しました。
- さらに、Manager Essentials **ダイバーシティ & インクルージョンに関する研修を強化するべく**、リーダーコーチトレーニングコースを新たに立ち上げました。

ダイバーシティ & インクルージョンに関する当社の取り組みは、Diversity Best Practices Top 10% Inclusion Index（多様性ベストプラクティスの上位10% 包摂指数）、Bloomberg Gender Equality Index（Bloomberg 男女平等指数）などで評価されています。当社の米国では養子縁組や不妊治療の補償を強化するなど学びを実践に活かしています。



2019 年のマイルストーンと実績

男女間の有意な賃金格差なし

2018 年に第三者機関によって行われた米国の報酬見直しで、エコラボは従業員のジェンダーや人種を問わず公平に賃金を支払っていることが確認されました。2019 年はこの活動を拡大してグローバルで実績を測定できるようにします。また、米国内では 2 年に一度包括的な見直しを行うことにしており、次は 2020 年に実施予定です。

取締役会における多様性の拡大

当社の取締役会は現在 **38%** が女性、**15%** が有色人種で構成されています。グローバルでの構成比の評価基準は、年に 2 回公式な見直しを継続的に行っていきます。役員レベルでは、年末時点で女性が **19%** で、2018 年の **17%** よりも増加しました。

従業員リソースグループが 16% 拡大

当社に 10 グループ存在する従業員リソースグループ (Employee Resource Group : ERG) は、エコラボの多様性ある文化の象徴であり、従業員の職能開発、業務上の知見の共有、エンゲージメントと帰属意識の促進の場として活用されています。6,500 人近い会員が、世界中にある 72 の支部に参加しています。2019 年時点の ERG 会員数は **16%** 増加しました。

女性のための差別化型能力開発会議

2019 年、米国において 2 つの事業部がフィールドセールスに従事する女性のための差別化型能力開発会議に主催者として加わり、2018 年の初回開催に続く成功を収めました。

平等法制定を推進する企業連携

公民権団体 Human Rights Campaign の Business Coalition for the Equality Act（平等法制定を推進する企業連携）に加わりました。

コミュニティの強化を目指すパートナーシップ

当社は、事業を行う地域社会において、人々と地球を守るプログラムや活動を支援しています。企業寄付、助成金、製品の寄付、ボランティア活動を通じて、エコラボは生態系の改善、教育の促進、健康で活気ある地域社会の支援に貢献します。

2019 年の取り組み

教育

教育プログラムへのアクセスを向上し、青少年に芸術や環境について学ぶ機会を提供する取り組みを支援しています。

260 万ドル

暮らしの向上のために、青少年・教育に関する支援を通じて提供 (STEM (科学・技術・工学・数学) プログラム、幼児教育、大学進学、自然や自然保護に関する教育など)

2019 年度のインパクト：
1,300 万ドル以上
のコミュニティ支援

エコラボ基金が焦点を当てている分野

青少年・教育、市民・地域社会の育成、芸術・文化、環境・自然保護

エコラボの活動分野

従業員によるボランティア活動現物寄付、企業寄付



参画

当社の従業員は自らアクションを起こし、助けが必要な人々を支援し、自然環境の回復に取り組んでいます。



62,000
時間



7,260
人のボランティア



310
件のプロジェクト



160 万ドル
相当のボランティア活動時間

支援

助成金と教育を通じて、当社の取り組みは地域社会を強化し、持続可能な取り組みの実践に役立っています。

450 以上

の非営利団体をエコラボ基金の助成金で支援

300 万ドル

を従業員からコミュニティ貢献プログラムを通じて 2,500 団体に寄付。エコラボ基金からも追加で 100 万ドルを寄付

900 万ドル

をエコラボ基金の非営利団体助成金プログラムを通じて世界各地の団体に助成

助けを必要とする人々や地域社会の支援

34 万 5,000 ポンド以上のエコラボ製品、総額 **170 万ドル相当**を World Emergency Relief とのパートナーシップを通じて世界各地の救援活動に寄付しました。

卓越した安全性への取り組み

当社の事業活動から当社が開発する製品、お客様へのサービスに至るまで、当社の安全へのコミットメントに妥協はありません。全従業員が毎日無事に帰宅するために、事故ゼロ、リスクの低減、チームメンバーのやる気と能力の向上に尽力しています。

GOAL ZERO

2019年に行った卓越した安全性への取り組み

移動において

走行距離 100 万マイルあたりの総車両事故率は **13%**、
重大車両事故率は **42%** 減少しました。



トレーニングを通じて

労働災害発生率は **7%**、休業災害発生率は **28%** 減少しました。
当社の事故や負傷を減らすための取り組みでは、トレーニングが大きな役割を果たしています。
当社には次のようなプログラムがあります。

リーダーシップトレーニング

安全に関するリーダーシップトレーニングでは、マネジャーがチームの安全文化を強化する方法を理解できるように支援します。

- 安全パフォーマンス向上の取り組みに参加しているマネジャーおよび従業員の **100%** が、半日のコースを受講しました。

新入社員向けトレーニング

エコーラボの各事業部では、セールス・サービス担当の新入社員を対象に、基本的な安全関連トレーニングを実施しています。

- 2019 年には、目標の **100%** には届かなかったものの **97%** の従業員が入社から **30 日** 以内にトレーニングを修了しています。

企業文化として

従業員のエンゲージメント

安全文化を創造および維持するためにはエンゲージメントが不可欠です。

- 85%** のエコーラボ従業員が「熱心に取り組んでいる」ことが最新のグローバルエンゲージメント調査でわかりました。エコーラボ内での安全へのエンゲージメントスコアは最も高いエンゲージメントカテゴリーに該当し、他のフォーチュン **500** 企業のベンチマークよりも **7%** 高い割合でした。

85%

最新のグローバルエンゲージメント調査からわかった「熱心に取り組んでいる」エコーラボ従業員の割合

記録可能な労働災害発生率 (TRIR)

(従業員 100 人当たりの傷病者数)

	2018	2019	変化率
北米	1.55	1.48	-4%
ヨーロッパ	0.90	0.80	-11%
アジアパシフィック*	0.50	0.63	26%
グレーターチャイナ	0.23	0.14	-39%
ラテンアメリカ	0.99	0.62	-37%
中東およびアフリカ*	0.35	0.58	66%
エコーラボ全体	1.14	1.06	-7%

総車両事故率 (TVAR)

(走行距離 100 万マイルあたり)

	2018	2019	変化率
北米	2.79	2.52	-10%
ヨーロッパ	5.00	4.21	-16%
アジアパシフィック	2.06	1.84	-11%
グレーターチャイナ	1.80	1.17	-32%
ラテンアメリカ	2.88	2.32	-19%
中東およびアフリカ	2.52	2.41	-4%
エコーラボ全体	3.08	2.68	-13%

エコーラボは会社全体で事故ゼロ、負傷ゼロの目標を掲げています。2019 年は死亡事故が 1 件発生しました。2018 年のデータは企業の買収や売却を鑑みて修正されています。グローバル事業はすべて OSHA の負傷報告基準に準拠しています。この情報を性別で分けることはできません。また独立請負業者に関するデータは含まれていません。

休業災害発生率

(従業員 100 人あたりの休業日数)

	2018	2019	変化率
北米	0.80	0.58	-28%

エコーラボにおける負傷および事故の報告用プラットフォームのウェブベースへの移行にともない、北米以外での休業災害発生率の追跡に関する一貫性に改善の余地があることが判明しました。2020 年も引き続きこの点を改善していきます。

重大車両事故率 (SVAR)

(走行距離 100 万マイル当たりの重大車両事故発生件数)

	2018	2019	変化率
エコーラボ全体	0.12	0.07	-42%

重大自動車事故は以下の項目により定義されます。

- 死亡事故
- 人身事故
- 車両横転事故
- 薬物、アルコールに関係する事故
- 土壌または水路への環境的流出事案

* 事故報告件数が比較的小さいため、前年比の変化の割合が大きくなっています

安全に関する実績

2013 年以降の実績

59% 重大車両事故率の減少

37% 記録可能な労働災害発生率の減少

20% 総車両事故率の減少

2016 年以降の当社の実績

43% 休業災害発生率の減少

信頼されるパートナーを目指して

エコラボのリーダーシップ、イノベーション、企業の社会的責任、サステナビリティに関する取り組みは広く認められています。エコラボが受賞したものの一部をご紹介します。

事業



世界で最も倫理的な企業

Ethisphere Institute による World's Most Ethical Companies (世界で最も倫理的な企業) に 13 年連続で選ばれました。



世界で最も称賛される企業

Fortune 誌の World's Most Admired Companies (世界で最も称賛される企業) に今年も選ばれ、化学業界部門で 2 位となりました。



営業職が最も働きたい企業

Selling Power 誌の Best Company to Sell For (営業職が最も働きたい企業) に今年も選ばれました。

サステナビリティ



CDP 水セキュリティ A リスト

持続可能な水管理の取り組みを行う企業を表彰する CDP Water Security A List (CDP 水セキュリティ A リスト) に選出されました。



トップレベルの持続可能な企業

Dow Jones Sustainability Indices North America Index (ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ北米インデックス) に選定されました。



優れた ESG 企業

環境、社会、ガバナンスで優れた実践を行っている企業を表彰する FTSE4Good Index (FTSE4Good インデックス) に 5 年連続で選ばれました。



最も優秀な企業市民

Corporate Responsibility Magazine 誌の Best Corporate Citizens (最も優秀な企業市民) で 8 位に選ばれました。



世界で最も持続可能な企業

Corporate Knight 誌の 100 list of the World's Most Sustainable Corporations (世界で最も持続可能な企業 100 社) に選出されました。



最も持続可能な企業

Barron 誌の 2019 年 100 Most Sustainable Companies (最も持続可能な企業 100 社) で 26 位に選ばれました。

職場



女性にとって最良の雇用主

Forbes 誌の Best Employers for Women (女性にとって最良の雇用主) に 2 年連続で選ばれました。



受容性のある企業

Diversity Best Practices Inclusion Index (多様性ベストプラクティス受容性指標) の上位 10% に選ばれました。



最も優れた職場

Human Rights Coalition による Best Place to Work for LGBT Equality (LGBT の平等に関して最も優れた職場) に選ばれました。企業平等指標は満点を獲得しました。



最も多様性に優れた雇用主

Forbes 誌の Best Employers for Diversity (最も多様性に優れた雇用主) に 2 年連続で選ばれました。



NEWSWEEK 誌が選ぶ世界で最も責任ある企業

Newsweek 誌が初めて発表した America's Most Responsible Companies (米国で最も責任ある企業) に選ばれました。



BLOOMBERG 男女平等指数

Bloomberg の 2020 年男女平等指数 (GEI: Gender Equality Index) の構成企業に選ばれました。

概要

本要約版では、エコラボの 2019 年度コーポレートサステナビリティレポートの中から、当社が世界に対して最もインパクトを及ぼしていると考えられる部分 (お客様、当社の事業、地域社会) に焦点を当て、その取り組みをご紹介します。

エコラボ 2019 年度コーポレートサステナビリティレポート (報告期間 2019 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日) の全編は、www.ecolab.com/sustainability からご覧いただけます。本レポートは、グローバルレポーティングイニシアティブ (Global Reporting Initiative) の GRI 標準のガイドラインに準拠しています。

当社は、透明性および情報開示に一貫して取り組み、Dow Jones Sustainability Index、RobecoSAM Sustainability Assessment、CDP's Carbon, Water and Supply Chain surveys、MSCI、Sustainalytics にも対応しています。さらに、国連グローバル・コンパクトおよび CEO Water Mandate に加盟し、これらへの取り組みの一環として、Communication on Progress (COP) の年次活動報告を提出しています。

本要約版に掲載されているカスタマーインパクトに関する事例はケーススタディ全体によって裏付けられています。

カスタマーインパクトに関する事例で紹介している状況、手順、結果は、特定の状況下でのエコラボ製品およびサービスを利用した場合に予想される結果を正確に反映しており、その一部または全部が当該事例に固有のものである場合があります。類似の環境では類似の結果が見込まれますが、同一の結果になるとは限りません。

重要性

エコラボは、サステナビリティを事業戦略の中核に据え、世界中の企業がすぐれた成果を達成し、より持続可能な方法で事業が行えるよう支援するソリューションを提供しています。当社の取り組みは重要であり、それをどのように実践するかは、当社の従業員やお客様、投資家、地域社会にとって重要です。

2019 年度コーポレートサステナビリティレポートのパラメータは、ステークホルダーにとって最も関心があり、事業戦略と関連性が高く、世界をより清潔に、より安全に、より健康的にするという当社の使命に従い、戦略的な評価に基づいて決定したものです。重要性に対するこのアプローチは、当社の事業と当社がお客様に提供する独自のソリューションを通じて、世界の最も差し迫った複雑な課題の一部に対処するための、当社のコーポレートサステナビリティ戦略に整合しています。

サステナビリティと重要性を評価する当社のアプローチの詳細については、2019 年の企業責任 GRI 報告書をご覧ください。